

肌の弾力値と水分値を的確に判定

フェイスケアセンサ「モデラス」



フェイスケアセンサ「モデラス」
 価格：15,000円（税抜き）
 問い合わせ：ヤマキ電気株式会社
 お客様サービスセンター：0120-850-730（フリーダイヤル）
 受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日は除く）
www.modulus.jp

今回見つけたアイテムは、フェイスケアセンサ「モデラス」。このアイテム、肌の弾力値と水分値を計測できる、最少最軽量の簡易型肌センサだという。早速、株式会社ヤマキ電気を訪ねた。

「そもそも、弊社、ヤマキ電気株式会社は主にオーディオ機器などの業務用製品を放送局などに販

売している、創業70年以上の会社です。そんな会社がなぜ、モデラスという製品をつくったのかと質問されるんですが、美容や医療の現場で研究のために使われている、弾力・粘弾性など詳細な測定記録が可能なバイオセンサ「ピーナストロンシステム」を、弊社がOEMで製作しているんです。「ピーナストロンシステム」は業務用センサなので、値段も300万円します。きっかけは、美容業界の方とお話しているとき、肌の水分と弾力を数値で表せる、一般の方が日常的に使えるコンパクトなアイテムはないか？ というお問い合わせを多く頂いたんです。そこで、弾力値は「ピーナストロンシステム」に搭載されているセンサ技術を採用し、水分値は、誘導率の違いによる静電容量変化をとらえる独自の技術で、携帯しやすいコンパクトサイズを追及してできたのがモデラスなんです」と語る、株式会社ヤマキ電気郡山営業所 営業統括マネージャーの齋藤優氏。

持ち歩けるコンパクトさはもちろん、業務用のセンサ技術が使われているというのは信頼性が高い。スイッチを入れて、頬の上あたりにセンサをつけて3秒程度で結果がでるといって手軽さもうれしい。表示画面では、弾力値と水分値を同時にそれぞれ1～100までの数字で表示し、加えて水分量に合わせたバラの花びらの枚数が少ないほど乾燥を表し、咲き誇れば潤いを表すバラのアイコンが5段階で表示されるという遊び心も。グラフやゲージでの表示ではなく、数値での表示というのも説得力がある。モデラスの先端にある白い突起が弾力の計測部分で、弾力計測部分を囲むようにある平面リングが水分の計測部分だという。どのような仕組みで弾力値と水分値を計測しているのだろうか？

「弾力値は超音波振動による共振周波数から測定表示しています。簡単に言うと、超音波振動がかたいものにあたると、高い周波数で、やわらかいものにあたると、吸収されるので、弱い周波数で戻ってくる特性から、かたい、やわらかいを判別し弾力値を出しています。超音波振動の深さも約1～5mmまでしか入っていないようにしています。骨までは到達せず、顔の表面の場合、皮下組織までですね。水分値に関しては、深さは50マイクロンまで。ほぼ、皮膚の表面の水分値を計測できるようにしています。弾力値と水分値は0～100までの数値で表示していますが、個人差もあるので、どのくらいの数字が肌にとって良いかというのは一概にはいえませんが、製品と同梱してCHECK CARDを入れてありますので、ひとつの目安としてご参考にして頂けますと幸いです。このCHECK CARDは弊社で、モニタリングして年齢に応じた平均弾力値、平均水分値を割り出したデータを基にしています。肌にとって、弾力がありみずみずしいということが理想として求められますが、気温、日光、加齢や栄養素など様々な要因で変化していきますので、こまめに自分の肌状態を知っておくということが、スキンケアをするうえで基礎となるのではないのでしょうか。自分の基準値として、より適切な弾力値と水分値の計測結果が得られるように、毎日、同じ時間に計測することを提案させていただいています」とも語る齋藤氏。

お肌を気にするのは女性が多いが、男性も気にする方が多くいる現在。日差しが強い夏でも、乾燥する冬でも、毎日、肌をチェックし、自分の肌の状態を確認し、適切なスキンケアやライフスタイルの改善をする。業務用技術に基づいたモデラスは、手軽で、適切なスキンケアライフをサポートしてくれるアイテムなのかもしれない。